

科目	動物行動学Ⅱ		
担当講師	山中 彩紗子		
実務経験有	警察犬訓練士 ドッグトレーニングセンター代表		
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物管理学科 2年次前後期	講義	必修	60
授業目標			
<p>犬、猫の習性を理解し、しつけ・訓練を学ぶ。</p> <p>実際の症例をもとに犬のトレーニングの仕方、アドバイスの仕方等を学ぶ。生物学上の観点から犬と猫の発生起源と歴史を理解し、基本的行動の意義または機序を学ぶ。行動の発達ステージと発達過程、生得的行動、習得的行動、個体と社会的行動、コミュニケーション行動とボディランゲージ、性行動を理解できる。しつけトレーニングでは基本的なしつけを理解し、適正飼育と人と動物の共生に寄与することを学ぶ。また犬猫の問題行動についても理解する。</p>			
授業概要			
犬猫の家畜化の歴史と種類、コミュニケーションとしつけトレーニング、問題行動への対応法などを学ぶ。			
成績評価の方法			
<p>評価の基準は実習レポート、実技試験、筆記試験による。また本科目受験には出席率が3分の2以上であることが必要。試験は80～100点がA評価、70～79がB評価、60～69までをC評価とし、60点未満は再試とする。再試においては80点以上を合格とし評価はCとなる。</p>			
教材			
講師資料			
授業計画	毎週水曜日 1限目 9:10～10:40		
回	テーマ	授業内容	
1	犬猫の本能・ルーツ	犬猫の生態の違い	
2	犬種ごとの特性①	犬種ごとの性格、習性の違いを学ぶ	
3	犬種ごとの特性②	〃	
4	ボディランゲージ	表情、尻尾などで犬の心理を学ぶ	
5	カーミングシグナル	カーミングシグナルを学び日常で活かす	
6	犬の五感	視覚、聴覚、味覚、嗅覚 など	
7	生まれてから老犬になるまで①	成長過程において何が大事かを学ぶ	
8	生まれてから老犬になるまで②	〃	
9	生まれてから老犬になるまで③	〃	
10	訓練としつけの違い	家庭犬、使役犬の違い	
11	褒め方、叱り方、遊び方	いい褒め方、叱り方、遊び方について	
12	問題行動①	吠えぐせ、かみぐせ	
13	問題行動②	飛びつき、分離不安、引っ張り	
14	問題行動③	排泄の失敗、車嫌い、拾い食い	
15	生活の中の行動と心理	家庭内での注意点	
16	子犬の育て方①	子犬の育て方	

17	子犬の育て方②	〃
18	子犬の育て方③	〃
19	服従訓練①	実技を含む
20	服従訓練②	〃
21	ドッグスポーツ①	アジリティ
22	ドッグスポーツ②	フリスビー
23	ドッグスポーツ③	フライボール
24	臭気選別①	遊びながらトレーニング
25	臭気選別②	食物を使ってトレーニング
26	グッドシチズン・ドッグ計画	グッドシチズン・ドッグ計画
27	服従訓練実技	テスト（実技）
28	服従訓練実技	テスト（実技）